

平成28年 9月12日 ～ 14日

鳥羽市議会会議

一般質問通告者一覧表

発言通告者	議席番号	7 番	氏 名	戸 上 健
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 菅島採石問題について</p> <p>先の議会で採石問題が浮上した。採石終結に対する市の姿勢が改めて問われている。そこで以下の諸点について問う。</p> <p>①土石（かんらん岩）売買契約書と菅島採石場緑化協定書を遵守する意思と姿勢について。</p> <p>②土石（かんらん岩）売買契約書、菅島採石場緑化協定書で定めた緑化は工程表通り進捗しているか。</p> <p><市長、副市長及び関係課長></p>			

発言通告者	議席番号	7 番	氏 名	戸 上 健
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 介護予防・日常生活支援総合事業について</p> <p>平成26年9月議会で3つの心配を指摘した。実施目前だが懸念は払拭したのか。以下の諸点を問う。</p> <p>①要支援者に対する地域支援事業のサービス内容について。 ②要介護1と2の特別養護老人ホーム待機者は、介護保険法の改正で原則対象外となった。どう対応するのか。 ③事業所の経営に対する影響をどう把握し、対応しているか。 ④地域支援事業の事業費の上限問題はどうか。 ⑤補足給付の縮小・打ち切りによる影響をどうとらえているか。</p> <p><市長及び関係課長></p>			

発言通告者	議席番号	7 番	氏 名	戸 上 健
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 移住定住施策の補強・拡充について</p> <p>今年度、市は「移住定住元年」と位置付け予算拡充措置を講じた。初年度の取り組みを成功させ、次年度以降の飛躍を期さねばならない。そこで次の諸点について問う。</p> <p>①着手後の手ごたえ、進捗状況はどうか。</p> <p>②次年度以降拡充する施策はなにか。</p> <p>③市役所全課あげての推進姿勢が求められる。そうになっているか。</p> <p><市長、教育長及び関係課長></p>			

発言通告者	議席番号	13番	氏名	坂倉紀男
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 学校統合の具体的なビジョンについて</p> <p>少子高齢化が避けられない今日、各学校の集団規模はどのようにして確保していくか。公立小学校、中学校の適正規模、適正配置について以下の点をきく。</p> <p>①昨年末に「鳥羽市小中学校統合計画」は発表されているが、児童生徒数の推移は右肩下がりで一向に起き上がってこない。学校の適正規模は、すでに国の基準から乖離しており、国の定める規模とすることは困難と思うがどうか。</p> <p>②学校教育法施行規則等の法律があるが、通学条件を念頭に入れた学校の適正配置についてはもっと難しくなる。市内小中学校の事情を踏まえ、学区解消も併せてもっと活性化された柔軟な取り組みは出来ないか。</p> <p>③本市は、小学校9校中学校5校だが、スクールバス等機動力を駆使すれば統合の余地はあると思うが、将来ビジョンについてきく。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	13番	氏名	坂倉紀男
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 東日本大震災時における遠野市の役割に習う</p> <p>岩手県遠野市といえば柳田國男の「遠野物語」が想いだされ・・・遠野の町は南北の川の落合にあり・・・その遠野市が東日本大震災以降注目されている。それは、宮古市から気仙沼市に至るまでの50キロ圏内をヘリで15分、車で1時間の地の利にある。このことを踏まえ、本市の防災対策について以下の点をきく。</p> <p>①東海、東南海、南海地震はいつ発災してもおかしくないといわれている。津波等を含めてどの程度の災害規模を想定しているのか。 (小浜、旧鳥羽町、有人離島、加茂川流域、安楽島から南鳥羽まで)</p> <p>②伊勢市のサンアリーナ高台に「三重県広域防災拠点」が整備されている。ヘリ発着と救援物資格納エリアを含めて、3万5000㎡の広さが有るが、ここがこの地方最大の救援物資集積場となる。ここから鳥羽への救援物資搬送のアクセスについて。</p> <p>③本市の「津波だみんな逃げよう」宣言や、東北地方で伝えられる「津波てんでんこ」等、まずは命を守ることが大切だが、その後の各避難所への救援物資の方面別仕分けは難関が予想される。地域防災計画等で想定はしているか。</p> <p>④救援物資の搬入は、各離島へのヘリによる発着場の問題や、市内へのトラック搬送が不可能の場合、量的輸送は船舶による航送に頼らざるをえないと思うが、どう考えているか。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	10番	氏名	世古安秀
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 鳥羽市を活性化するための県立鳥羽高校との連携について</p> <p>県立鳥羽高校の存続が危惧されているが、鳥羽市の活性化には存続は欠かせない。これまでの活動と今後の取り組みについて問う。</p> <p>①これまで鳥羽高校との連携をどのように図ってきたか。</p> <p>②「伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会」ではどのような議論がされているのか。</p> <p>③今後、市として鳥羽高校の存続を支援していく考えはあるか。</p> <p><市長、教育長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	10番	氏名	世古安秀
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 鳥羽市独自の給付型奨学金の創設について</p> <p>教育の機会均等、意欲と能力のある生徒や学生を伸ばすために、返済不要の給付型奨学金の創設について問う。</p> <p>①現在行っている奨学金制度はどのようなものか。人数、金額等について。</p> <p>②県内市町での奨学金の創設状況は。</p> <p>③鳥羽市独自の給付型奨学金制度を創設する考えは。</p> <p><市長、教育長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	10番	氏名	世古安秀
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 小中学生の遠距離通学費の補助について</p> <p>次の点についてきく。</p> <p>①遠距離通学補助制度の目的は。</p> <p>②補助対象となっている児童生徒の人数と費用は。</p> <p>③特別交付税で財源が措置されているか。金額は。</p> <p>④現在距離によって50%、85%補助となっているが、100パーセントの完全補助を行うためにはあとどれくらいの費用がいるのか。</p> <p><市長、教育長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	2 番	氏 名	河 村 孝
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 漁業者の後継者不足解消及び所得向上について</p> <p>次の点についてきく。</p> <p>①鳥羽市内の漁業者の現状について。</p> <p>②水産業に関するこれまでの行政の取り組みと今後の施策の展開について。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	1 番	氏 名	片 岡 直 博
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 予想される大震災に対する備えについて</p> <p>今後30年の間に60%～70%の確率で起きるであろう大震災に対する備えについて、早急を実施すべき諸問題の対応を問う。</p> <p>①水に対する備えについて。 ②道路に対する備えについて。 ③護岸に対する備えについて。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	4 番	氏 名	木 下 順 一
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 災害用備蓄品(食料・水等)について</p> <p>次の点についてきく。</p> <p>①備蓄品の入れ替え交換時期は。</p> <p>②防災倉庫内の品質等の点検は。</p> <p>③期限を迎えた備蓄品はどのようになるか。</p> <p>④フードバンクで備蓄品を有効活用するという考えはないか等についてきく。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	4 番	氏 名	木 下 順 一
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 災害発生前後に対応する計画策定について</p> <p>次の点についてきく。</p> <p>①地域防災計画(地震・津波対策編)は昨年策定され、今年(風水害対策編)が策定されるが、国、県からは更に業務継続計画や復興計画など、防災・減災対策の計画策定を求められている。これらの対策も急務と考えるが、計画策定に向けた取り組みについてきく。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	14番	氏名	野村保夫
<p>件名及び 要旨</p>	<p>○ 木田市長の総括と来期の進退について</p> <p>次の点についてきく。</p> <p>①市長はこれまでどのような政策を実現してきたのか。</p> <p>②また、市民の反応をどのように実感しているのか。</p> <p>③思いの中で実現できなかった政策は何か。</p> <p>④来期の出馬の考えは有るのか。</p> <p><市長></p>			